

医療的ケアが必要な子どもと家族が、安心して心地よく暮らすために

－医療的ケア児と家族を支えるサービスの取組紹介－

厚生労働省政策統括官付政策評価官室 アフターサービス推進室

医療的ケア児の現状

【医療的ケア児とは】

- 生きる上で医療的なケアと医療機器を必要としながら日常生活を送る子ども
- NICU(新生児集中治療室)から退院後の生活場所として、自宅または医療型障害児入所施設などの重症心身障害児施設で過ごすことが多い
- 対象児童数は約1.8万人(平成28年)と推計され、10年間で約2倍となっている

【支援体制の課題】

- 日中を過ごす通いの場が不足
- 家族が24時間看護を担い心身が疲労
- 医療的ケアの対応体制(看護師・教職員)が不足

【医療的なケアを必要とする状態】

- ・ 身体に気管切開部がある
- ・ 痰の吸引が欠かせない
- ・ 人工呼吸器を装着している
- ・ 在宅酸素療法を受けている
- ・ 胃や腸などから経管栄養を受けている など

【医療的ケア児数】



平成29年度厚生労働科学研究費補助金障害者政策総合研究事業「医療的ケア児に対する実態調査と医療・福祉・保健・教育等の連携に関する研究(田村 研)報告」

医療的ケア児が利用できるサービス例

- **施設で療育、活動を行う障害児通所支援**
・ 児童発達支援 ・ 放課後等デイサービス 等
- **訪問看護師やヘルパーが自宅に来る訪問支援**
・ 居宅介護 ・ 訪問看護 ・ 訪問診療 等
- **障害福祉等のサービス利用等を計画する相談支援**
・ 計画相談支援 ・ 障害児相談支援

家族への支援例

- **家族の病気、用務の時**
→ 子どもを施設に数日間預ける**短期入所**
- **家族の社会的孤立を防ぐ就業の機会**
→ **クラウドソーシング**

上記のサービス等を実施している3法人と自治体の取組を調査

調査先の概要

一般社団法人 **Burano(ブルーノ)**〔茨城県古河市〕
社会福祉法人 **フラット**〔千葉県白井市〕
認定NPO法人 **NEXTEP(ネクステップ)**〔熊本県合志市〕

利用事例、
ケア児の親・
小児看護師の
インタビュー
を掲載

調査の結果

1. 障害児通所支援(3法人)

－自宅と学校以外で遊び、活動する場－

【内容】

- ・ 同年代の友達との交流
- ・ 療育を取り入れたリハビリ

<保護者の声>
・ 子どもの世界が広がった
・ 利用日は目が輝いている

【特徴】

- ・ 医療的ケアに対応できる看護師を常勤雇用
- ・ 看護師が同行し、子どもが積極的に外出
- ・ 友達、職員とのふれあいを丁寧にサポート



【児童発達支援、放課後等デイサービスの活動】

2. 訪問支援(ネクステップ)

－自宅で過ごすための支援－

【内容】

- ・ 居宅介護-入浴介助、通院の付添など
- ・ 訪問看護-医療機器の管理、保清ケア、リハビリ指導、日常生活の相談など

【特徴】

- ・ ケア児ときょうだい児の身支度をサポート
- ・ 24時間のオンコール体制で日常を支える



【訪問支援のケア、活動の様子】

3. 相談支援(フラット・ネクステップ)

－サービス等を利用するための手続き－

【内容】

- ・ ケア児と家族のニーズに応じて障害福祉と医療を踏まえた利用計画を策定

【特徴】

- ・ 訪問看護師が計画策定(ネクステップ)
- ・ 保護者、児童発達支援管理責任者、看護師、保育士がアセスメント(フラット)



【重症心身障害者(18歳以上)の事例を紹介】

4. クラウドソーシング(ブルーノ)

－医療的ケア児の親が就業する仕組み－

【内容】

- ・ PCで受注実施する登録・歩合制の業務

【特徴】

- ・ 医療的ケア児の親たちが時間と場所の制約を受けずに仕事ができる
- ・ 子どもを通所支援施設(1階)に預け、親が作業スペース(2階)で働く



【2階ではきょうだい児が遊ぶ】